



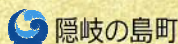


○隠岐の島町とは

隠岐の島町が位置する島後は、島根半島の北東約80 kmの海上に位置し、隠岐諸島中最大の島です。隠岐の島町の北西約15.8 kmには竹島があり、隠岐の島町に属しています。

○隠岐の島町の農業

隠岐の島では米農家が多く、「藻塩米」と呼ばれる特色あるコメのブランド化も進めています。また、肉用牛の生産については県内の主要な産地と位置付けられており、公共牧野を活用した放牧による低コスト繁殖経営が行われています。



◎住宅情報について

●短期滞在住宅

・戸建 1ヶ月滞在 家電製品・家具等備付け
家賃 21,000 円～30,000 円（光熱水費込）敷金なし

●公営・民間賃貸住宅

U・I ターン者及び若者向け公営・民間賃貸住宅

●空家・空地及びアパートの賃貸・売買について

隠岐の島町空家・空地バンク制度



◎助成・支援制度について

U・I ターン奨励金など各種移住・定住支援制度があります。

詳しくは、隠岐の島町役場 地域振興課 定住推進係

☎08512-2-8570（直通）

隠岐の島町ホームページ＜定住情報

www.town.okinoshima.shimane.jp/

までお問合せ下さい。

◎公共施設について

1. 病院関係

隠岐病院（内科ほか14科の診療科）をはじめ各地区に診療所があり、西郷港周辺には、個人開業の内科医院や歯科医院などが数か所あります。

2. 公共交通機関

隠岐一畑バス、タクシー
公共交通機関の便次第では自家用車が必要です。



隠岐の島町農業再生協議会 担い手育成部会

【事務局】

隠岐の島町農林水産課（〒685-8585 隠岐郡隠岐の島町下西 78 番地 2）

TEL：08512-2-8563 FAX：08512-2-2460

隠岐支庁農林局農業振興部（〒685-8601 隠岐郡隠岐の島町港町塩口 24）

TEL：08512-2-9683 FAX：08512-2-9657

島根県農業協同組合隠岐地区本部経済部（〒685-0016 隠岐郡隠岐の島町城北町 151 番地）

TEL：08512-2-1133 FAX：08512-2-3717

農業を始めるにあたっての心構え

農業を始めたい方には支援策をご用意しておりますが、最後には自身の気持ちが大事です。農業という職業で成功するには多大な努力と経営手腕、逆境にもめげない強い意志が必要になってきます。さらに、新規就農を目指す方は、初期の設備投資に相当なお金が必要となることに加え、就農開始後すぐに所得を確保できるわけではないため、2～3年分の生活資金の準備も必要です。

自身の気持ちや、資産状況を確認し、ご家族ともよく話し合ったうえでご相談ください。隠岐の島町では、やる気のある方のご来島・ご就農をお待ちしております。

就農までの流れ



ステップ1 (就農相談)

農業がしたい!! → まずは体験からスタート

農業（産業）体験

産業体験を通じて農業・農村について理解を深めましょう。

<短期体験>

◎しまね農業体験プログラム

県内で実際に半日～1日程度の農作業を体験

- ・原則1泊2日
- ・宿泊費、受入農家への謝金を助成



<長期体験>

◎U・Iターンしまね産業体験事業

県外在住者が県内で一定期間産業体験を行う場合に、滞在経費の一部を助成

- ・期間：3カ月～1年
- ・体験者12万円/月（親等と同居の場合）6万円/月
- ・親子連れ3万円/月・世帯（中学生以下）



審査

農業がしたい!!

農業は合わない

他の産業でがんばろう

ステップ2 (就農前)

農業しながら定住したい

本格的に農業がしたい

就農時50歳未満

就農時50歳以上

県内在住者

U・Iターン者

●半農半X支援事業（定住定着助成）県

- ・Uターン者が行う半農半Xの農業研修を支援
- ・12万円/月 1年以内
- ※夫婦で共同経営を行う場合18万円/月

●就農準備資金 国

- ・県農林大学校等で研修を受ける者への給付
- ・12.5万円/月 2年以内

●農業人材投資事業<準備型> 県

- ・県農林大学校等で研修を受ける者への給付
- ・就農予定時原則50歳以上65歳未満（県内在住者）
- ・6万円/月 1年以内

●農業人材投資事業<準備型> 県

- ・県農林大学校等で研修を受ける者への給付
- ・就農予定時原則50歳以上65歳未満（Uターン者）
- ・12万円/月 1年以内

雇用就農資金（雇用者への助成）

雇用就農を希望

ステップ3 (就農後)

●経営開始資金 国

- ・人・農地プランに位置づけられた認定新規就農者への給付
- ・就農予定時原則49歳以下
- ・12.5万円/月 3年以内

●農業人材投資事業<経営開始型> 県

- ・就農時50歳以上65歳未満の認定新規就農者へ給付
- ・72万円/年 2年以内

●自営就農開始支援事業<ハード事業> 県

- ・認定新規就農者等の機械整備等への支援（継承資産の改良も可）
- ・補助率1/3

●ハウス等整備事業<ハード事業> 県

- ・認定新規就農者等のハウス、牛舎等整備への支援
- ・補助率1/3等



先輩農業者紹介①

隠岐の島町下西 村上 淳一 さん (独 立 自 営 就 農)



プロフィール

出身地：隠岐の島町下西

就農前の職業等：大学在学中に父が亡くなったことをきっかけに卒業後、就農。

家族構成：本人、妻、子3人、母、祖母

～島の香り隠岐藻塩米を日本一の米に～

1 就農の動機

関西の大学へ進学し、教員免許も取得しましたが、大学在学中に父が亡くなり、家が代々農家だったことから家業を継ぐことを決意。大学卒業後すぐに隠岐の島町へ戻り、独立自営就農を開始しました。

2 就農準備～経験ゼロからの水稻栽培への挑戦～

① 資金・農地・住宅

父が設備投資を行っていたので、初期投資はほぼなしで経営を開始することができました。しかし、農業の経験はゼロだったので、機械の使い方も分からず、就農当初は失敗ばかりしていました。資金は、青年就農給付金（15万円/月）を活用しました。

② 就農を開始して苦労したこと

知識ゼロから農業を始めたので最初の2、3年は五里霧中の無我夢中でした。機械の使い方やメンテナンスもできず、たくさん壊しました。米を作れば2等米や3等米ばかり…今でも当時の事はあまり思い出しくありません。農業は専門職で栽培技術の知識さえあればやれそうな気がしますが、家族経営だったので経理やマーケティングなど全てをこなす必要があり大変でした。特に申告などの税務関係には苦労しました。



3 現在の経営概要と特徴

① 主な作目と栽培面積

水稻：12ha
(うち8haは島の香り隠岐藻塩米)
受託作業：約4ha
ブドウ：30a
製餅：2tの餅を加工販売

② 主な保有施設・機械

- ・積載車1台、トラクター2台、田植え機1台、コンバイン1台など
- ・育苗ハウス3棟、ブドウハウス3棟(連棟)
- ・ライスセンター1棟
- ・ブドウ選果場1棟

② 労働力：本人、母

③ 販売先：JA、あんき市場(町内産直市)、飲食店3店舗、保育園2園

④ 特徴：

隠岐の沿岸で獲れた海藻を、海水だけで煮詰めて作った藻塩を稲に散布して栽培する「島の香り隠岐藻塩米」の栽培に力を入れています。藻塩には、マグネシウム等の海のミネラル分が豊富に含まれています。隠岐の土壌はマグネシウムが豊富に含まれていて、稲の葉と根、両方からミネラルを吸収させることで他の産地にはない隠岐独特の食感や粒感、香り、甘味が特徴の米を作っています。また農業化学肥料5～7割減などの環境にやさしい特別栽培の「島の香り隠岐藻塩米」を生産することで、安心安全な農産物を消費者の方々に届けることに努めています。

4 経営を開始しての感想

何の知識もないところから始めた農業は失敗の連続で毎日が必死でした。訳も分からず独りよがりになっていた時に「島の香り隠岐藻塩米」と出会い、全てが一転。それまでは自分で作った米は自分で販売したほうが儲かると思っていたのですが、自分の経営規模、販売や営業の労力、隠岐という離島のハンデなど一人でやる事の限界に気づきました。ここに気づくまでに8年…そこから経営方針を転換し、JAを中心とした関係機関と共に、「島の香り隠岐藻塩米」のブランド化を目指しています。今では全国ネットのテレビや有名な雑誌に何度も紹介されるほどになりました。しかしこれで満足はしていません。隠岐の島という離島のハンデを逆手にとってメリットに変えられるような、隠岐の島にしかできない何かを模索しながら「島の香り隠岐藻塩米」を日本一の米にできるように努力していきたいです。

5 新規参入者へのアドバイス

就農当時は分からないことだらけです。経験ゼロから始めた自分の経験上、出来れば農業研修を積んでからの就農をオススメします。そうすれば少しは心に余裕が持てるかもしれません。

「自然が好きだから」とか「田舎のスローライフに憧れて」というだけでは生活できません。農業という職業の性質上、天候次第で収入も大きく変わりますし、心が折れそうになる事も多々あります。また隠岐という田舎では、地域との繋がりがとても重要です。(意外と行事が多くてのんびりできません。)一人では絶対生きてはいけません。誰かに頼る、誰かに相談するという事が非常に大切になってきます。農業をやりたいという気持ちが一番ですが、その上に「お互い様」という気持ちが大切にできるのなら、隠岐の島町でも農業をやっていけると 생각합니다。

一日の生活スタイル



1年間の主な農作業スケジュール

月	作業
1月	機械メンテナンス 作業場整理など
2月	ぶどうの剪定
3月	育苗
4月	田植
5月	ぶどうの管理
6月	田の管理
7月	ぶどうの収穫
8月	
9月	稲刈り
10月	
11月	機械メンテナンス 作業場整理など
12月	

人生の
軌跡

決意

21歳
父が亡くなる

就農

22歳
大学を卒業
後就農

結婚

23歳
藻塩米の
栽培を開始

転換期

31歳
藻塩米
東京進出

現在

39歳

先輩農業者紹介②

隠岐の島町原田 柴 功一 さん (独 立 自 営 就 農)



プロフィール

出身地：隠岐の島町原田

就農時期：2011 年（H23 年 当時 26 歳）

就農前の職業等：園芸会社（苗物）

家族構成：本人、父、母、妻、子

～地元の人に新鮮な野菜を届けたい～

1 就農の動機

県立農林大学校（野菜専攻コース）を卒業後、県外の農業生産法人に入社し、野菜苗・花壇苗生産の仕事に携わる。習得した技術や経験を活かし、地元で農業をしたいと思い、自営就農を開始しました。

2 現在の経営に至るまで

Uターン後は、先輩農家のもとで1年間施設野菜の研修をしながら、地元ホームセンター向けの野菜苗生産を始めました。その後は、徐々に規模を拡大しJA向けの野菜苗の生産や、「キュウリ」「トマト」「キャベツ」「トルコギキョウ」など生産品目を増やしています。

3 今後の目標

- ・新たにハウスを増設し、「イチゴ」などの新しい品目にも挑戦していきます。
- ・法人化による経営の安定化と、雇用による労働力の確保を目指します。

4 現在の経営概要と特徴

① 主な作目と栽培面積

野菜苗：8a
施設野菜（果菜類）：7a
露地（葉菜類、根菜類）：30a
トルコギキョウ：2a

② 主な保有施設・機械

ビニールハウス6棟（12a）
育苗施設1棟（1a）
トラクタ、管理機、作業舎、作業用倉庫、
軽自動車（配達用）

② 労働力：本人、妻、父、母

③ 販売先：量販店、学校給食、町内外の産直市、JA 西ノ島支店グリーンストア

④ 特徴

（野菜苗）ホームセンター、JA 隠岐地区本部、隠岐どうぜん地区本部との契約栽培をしています。
（果菜類）半促成作型と抑制作型を組み合わせ、露地物が少なくなる時期に出荷できるよう工夫しています。生産物は全て隠岐圏域で販売しています。

5 研修の受入条件等

受入実績：なし

受入可能期間：通年（随時）

その他：宿泊施設なし、通勤型。

※研修後も栽培技術のほか、販路等についてアドバイスすることができます。

6 新規参入者へのアドバイス

- ・他の生産者や販売先の方々など、農業経営をしていく上で沢山の出会いがあります。生産に係る情報交換や、消費者ニーズを把握するため、積極的にコミュニケーションを図りましょう！
- ・栽培や販売で必ず失敗があります。そこで諦めずに、失敗の原因を分析し、次に向けてしっかり準備をしましょう！



一日の生活スタイル



1年間の主な農作業スケジュール

月	作業			
	果菜類		野菜苗	トルコギキョウ
	半促成	抑制		
1月	↑ 播種			
2月	↓ 植付		↑ 播種	
3月			(通年)	
4月				
5月				↑ 播種
6月	↑ 収穫		↑ 収穫	
7月			(2月～11月)	↑ 植付
8月		↑ 播種		
9月		↑ 植付		
10月		↓ 収穫		↑ 収穫
11月				
12月				



人生の軌跡

進学

18 歳
農業大学校へ入学

就職

20 歳
農業生産法人に入社

帰郷

24 歳
隠岐へUターン

結婚

26 歳
運命の人と結婚

現在

35 歳
認定農業者へ

先輩農業者紹介③

株式会社 だんだん牧場 (企 業 参 入)



プロフィール

出身地：隠岐の島町

企業参入前の主な職業等：建設業

従業員：正社員5名、臨時社員2名

～隠岐の島で一番規模の大きい繁殖牧場～

1 就農の動機

親会社の(株)金田建設は昭和26年に設立し、隠岐の島を拠点として、海洋土木工事・一般土木工事・公共建築工事・戸建住宅建築工事・建築リフォーム工事等手がけてきました。

しかし、公共工事の減少の中、雇用の維持と地域経済の発展を図るため、大型畜産経営(肉用牛繁殖)への参入を決意して、平成22年12月に(株)だんだん牧場を設立しました。

2 就農準備～隠岐で一番の規模の繁殖牧場～

① 資金・農地・住宅

公共牧野整備候補地の中に金田建設が所有する土地があり、町役場から、牛舎を建設し、その周りに牧野を整備することを提案されたこともあり、岬町に牛舎を建設することにしました。

また、隠岐の島町内の耕作放棄地を借りて、1.9ha 飼料作物を栽培しています。島内で栽培された WCS も活用して、島内産の自給飼料で約半分は補われています。

日本政策金融公庫や J A しまねからの借入金と金田建設から資金的な支援を受け、県単事業「企業参入・連携支援事業」を活用し、牛舎建設・素牛の導入・耕作機械等の設備投資を行いました。

② 農業へ参入して苦労したこと

生き物相手なので、365 日休みはなく、分娩や急病のため夜中の出勤もよくあります。

経営開始当初は病気が多発したり、子牛の発育が良くなく、その都度改善策を検討し、改善を図ってきました。

それでも従業員はほとんど他牧場で経験を積んだ、畜産経験者ばかりだったので、皆で協力しながら軌道に乗せていきました。



3 現在の経営概要と特徴

① 主な作目と栽培面積

和牛繁殖：250頭
(令和元年度子牛出荷：211頭)
飼料作物：1.9ha

② 主な保有施設・機械

・牛舎6棟、たい肥舎3棟
・トラック5台、タイヤショベル2台
・トラクター4台、バックホウ1台
・公共牧野 86.1ha(4牧野)、自社牧野 約5.0ha

② 労働力：正社員5名、臨時雇用2名

③ 販売先：西郷家畜市場(子牛市場：毎年3月、7月、11月の3回)、経産牛は市場番外で上場させるか肥育にして大田食肉公社で枝肉として卸します。

④ 特徴：隠岐の島町で最大規模の飼養頭数(250頭)を誇り、今後も増頭する計画です。施設・機械・公共牧野などの経営環境の効率的利用によって、労働力の省力化、低コスト経営に努めています。また、島内の耕作放棄地を活用して飼料作物を栽培し、今後さらに耕作面積を拡大する予定です。島内のコントラクターが収穫した WCS の約8割を当牧場が購入しており、地域の耕作放棄地対策及び、地域農業活性化に多大に貢献しています。

一日の生活スタイル



4 経営を開始しての感想

隠岐は本土とは違い、牧野が整備されていることから、省力的に牛を飼養管理することができます。

当牧場は順調に増頭し、今では西郷家畜市場の上場頭数の半分を占めるまでになりました。

今後も、さらに隠岐らしい牛を生産し、隠岐の畜産業が発展するように、技術的向上に努めていきたいです。

5 新規参入者へのアドバイス

生き物を飼うには確かな知識と技術が必要です。実践的な研修をすることで、教科書にはないものを身につけることができます。貴重な経験やノウハウ、失敗談を共有して自分なりの農業経営ビジョンを見つけて下さい。また、研修期間中は地域の様々な方々と交流して隠岐の良さを感じて下さい。

牧場ではいつでも研修生を受け入れられます。隠岐は本土よりも牧野が整備されているので、省力的に牛を飼いやすいです。隠岐型の畜産を体験しに来ませんか？

月	作業
1月	繁殖牛飼養管理
2月	堆肥散布
3月	
4月	夏作飼料播種
5月	春作飼料収穫
6月	
7月	夏作飼料収穫
8月	WCS収穫・運搬作業
9月	春作・夏作2番草収穫
10月	堆肥散布
11月	春作播種
12月	

企業参入
の軌跡

設立

S26年
(有)金田建
設設立

参入

H22年
(株)だんだん
牧場設立

初出荷

H25年
子牛
初出荷

現在

R2年
飼養頭数
250頭

就農研修受入れ先一覧

I 畜産

(有) 村上建設 村上芳雄



経営規模：和牛繁殖 61 頭、飼料作物 500a
WCS 用稲 85a
受入れ条件：不問
過去の研修受入状況：有
特徴：牛突きの会長をしています。

遠藤 義光 (ファーム 21)

経営規模：和牛繁殖 47 頭、飼料作物 182a、
WCS 用稲 808a
受入れ条件：不問
過去の研修受入状況：有
特徴：隠岐の食材を使ったご飯を提供します。



(株) だんだん牧場 宮川 則男

経営規模：和牛繁殖 250 頭、飼料作物 1,682 a
受入れ条件：不問
過去の研修受入状況：有
特徴：隠岐の島で最大規模の飼養頭数を誇ります。



II 施設園芸

柴 功一

経営規模：野菜・花の苗 5 a、トルコギキョウ 2a
露地野菜 30a
受入れ条件：不問、過去の研修受入状況：なし
特徴：苗栽培技術について、学ぶことができます。



III 水稲

高梨 好隆

経営規模：水稲 620a、施設野 36, 8a
ブルーベリー 16a
受入れ条件：不問
過去の研修受入状況：有
特徴：隠岐の島ならではの栽培方法で水稲を栽培しています。



III 水稲

フジタファーム (株) 藤田一志

経営規模：水稲 1,907 a、WCS 用稲 645a、
白小豆・黒小豆 86a
受入れ条件：不問
過去の研修受入状況：有
特徴：隠岐の島町で最大規模の水稲営農を行っています。



村上 淳一

経営規模：水稲 1,299 a、ぶどう 30a、製餅：2 トン
受入れ条件：不問
過去の研修受入状況：なし
特徴：隠岐の島町ブランドの「藻塩米」に力を入れています。



松森 喜代治

経営規模：水稲 745a、そば 20a、黒大豆 10a、
トルコギキョウ 1.8a
受入れ条件：不問
過去の研修受入状況：なし
特徴：水稲、豆類、露地野菜等幅広い営農を行っています。



(農) 都万営農 井川 寛

経営規模：水稲 1,685 a、WCS 用稲 625a、そば 164 a
受入れ条件：不問
過去の研修受入状況：なし
特徴：都万地域の水稲受託を行っています。



勝部表装侑 勝部 義弘

経営規模：水稲 1,260 a、酒米 215a、そば 322 a、麦 100 a
受入れ条件：不問
過去の研修受入状況：あり
特徴：水稲・そば・農産物加工品などの複合経営を行っています。



やる気のある方! お待ちしています!!

隠岐の島町 体験受け入れ農家

